

《学校教育目標》みんなで認め合い、学び合い、やりぬく本牧の子



横浜市立本牧小学校

学校だより



令和8年度 5月号

さえずりは学びの中で

～ 鶯（うぐいす）の声に思う ～

副校長 新谷 亜希子

バスを降りて学校へ歩き始め、最初に聞こえてきたのが鶯（うぐいす）の声でした。はじめての出勤に不安な気持ちでいっぱいだった私を励ましてくれているようで、思わず笑顔になり、「ありがとう」と小さな声で言いました。

あらためまして、本年度南区南小学校より異動してまいりました、^{しんたに}新谷 亜希子と申します。学校のすぐ隣が山頂公園という、素晴らしい環境で、四季の移り変わりを感じながら過ごすことを楽しみにしています。そして何より、本牧小学校の児童のみなさんが、初めて出会ったときから笑顔で挨拶をしてくださり、わくわくした気持ちでスタートしました。

先日22日に、1年生を迎える会があり、1年生への歌のプレゼントとして、2～6年生が校歌を歌いました。体育館いっぱいに広がる伸びやかな歌声、重なり合い、ときに掛け合いながら響き合う校歌に思わず胸が熱くなりました。上級生一人ひとりが、これまでの学校生活の中で大切に歌い継いできた校歌。その「歌声」には、この学校で過ごしてきた時間や思いがしっかりと込められていることを感じました。

私を励ましてくれた鶯の声ですが、調べてみると、あの美しい鳴き声は、生まれたときから完成しているわけではないことがわかりました。まわりの声を聴き、まねをし、何度も挑戦する中で、少しずつ自分の声をつくりあげていくそうです。

上級生が歌う校歌や、日々の学校生活で見せる姿から、1年生は多くのことを学んでいきます。このように学び合い、つながり合う中で育まれてきた姿や歌声が、本牧小学校の大切な伝統となっていくのだと思います。

学校生活の様々な場面を通して、本牧小学校の子どもたちが、立派に“さえずる”ことができるようになってほしいと思います。私たち教職員も、よき手本となり、支援・指導できるよう、努力してまいります。

保護者や地域の皆様も、個性豊かな本牧小の「鶯^{こども}たち」を温かく見守り、ときには、お声掛けいただけたらと思います。